

令和2年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年上半期分について、輸出は「家庭用電気機器」、「半導体等電子部品」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「電気計測機器」、「電気回路等の機器」などが減少したことから対前年同期比22.7%の減少となった。また、輸入は「航空機類」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したものの、「有機化合物」、「原動機」、「医薬品」などが減少したことから、同15.8%の減少となった。
その結果、差引額は999億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	3,723億円	▲22.7%	4,721億円	▲15.8%	▲999億円	+26.1%
3期連続の減少			2期連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)家庭用電気機器	124億円	+115.2%	輸入	増加品目	(1)航空機類	484億円	+21.3%
		(2)半導体等電子部品	440億円	+16.9%			(2)絶縁電線及び絶縁ケーブル	158億円	+104.2%
		(3)プラスチック	103億円	+13.5%			(3)織物用糸及び繊維製品	88億円	+98.4%
	減少品目	(1)自動車の部分品	76億円	▲73.1%		減少品目	(1)有機化合物	167億円	▲46.6%
		(2)電気計測機器	307億円	▲31.0%			(2)原動機	487億円	▲22.5%
		(3)電気回路等の機器	166億円	▲32.5%			(3)医薬品	673億円	▲13.2%
	主要地域 増 減	EU、アメリカ、アジアが減少				主要地域 増 減	アジア、EUが減少、アメリカは増加		

（参考）ドルレート・・・108.37円（前年 110.28円）1.7%の円高ドル安

（注）令和2年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。